



今月号のトピックス

- ▶ オンライン姉妹都市交流(ラットランド編)レポート ▶ オンライン姉妹都市成果発表
- ▶ JICAについて知ろう ▶ Chikaのインドネシア体験記No.24 ▶ 未来図書館レポート(矢沢小学校)
- ▶ 花巻南ロータリークラブレポート



オンライン姉妹都市交流

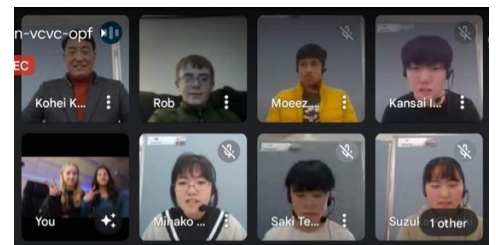
姉妹都市に友達をつくろう!

交流+成果発表編



オンライン交流(ラットランド市:1回目)

2月11日(土)午前9時より日程変更となっていたラットランド市とのオンライン交流が行われました。今回はアイスブレイク⇒グループに分かれての交流⇒感想発表という順番で進めました。アイスブレイクは、英語でしりとりし和気あいあいとした雰囲気です。英語で英単語を答えていました。



グループごとに分かれての交流では、準備してきた成果を十分に話し切れず、悔しい思いをされた方が多かったようです。何事もトライ&エラーの繰り返しです。一度の失敗でくじけず次回に向けて準備していきましょう。



オンライン交流成果発表(ホットスプリングス市:3回目)

2月26日(日)は「つなぐ・つながる」国際交流で広がる世界”内でホットスプリングス市とのオンライン交流を実演しました。いつもと違い見学者がいる中での交流だったので、「緊張している人は手をあげて」と聞くと、参加生徒たちは全員手を挙げていました。

ですが3回目ともなると慣れ、笑顔も見られ会話が弾んでいる様子が伺えました。今回の交流を通じて英語力の他にコミュニケーション能力もスキルアップしたと思います。参加された生徒さんのこれからの活躍をお祈りしています。



JICAの活動について知ろう

「神のみぞ知る!？」

セネガルの生活と教育

セネガル共和国

小山内 美里 さん

2016年～2018年

職種 小学校教諭



＜ハチマキで運動会＞

任地ではフランス語とセレール語（現地語）で活動した小山内さん。最初はホームステイ先から語学学校に3週間通ったそうです。家では渡されたバケツ1杯の水で体や顔を洗っていたとのこと、セネガルでは水が貴重なんですね。

初めの1年間は言語習得と学校に慣れることだけで精一杯だったと聞き、私もそうだったなとインドネシアの協力隊時代を思い出しました。塀に囲まれたマンゴーの木のある家に住んでいた小山内さん、しかし時には塀を越えて子供がマンゴーを盗みにきたそうです。小山内さんが学校で実施したクラス対抗算数大会の賞品もマンゴー。

小山内さんのお母様が任地を尋ねて来て、現地の料理に少しひきつった様子がおもしろかったです。馬車に乗ってお出かけの動画や写真から伝わるのどかな風景に心が温まりました。



給料を取りに行き先生が学校に来ない・仕立て屋さん服の仕立てをたのんでも約束の日に仕上がらないなど、そうそうと頷ける内容で、「すべては神のみぞ知る」と現地の人はとてもおおらかな。本当に楽しんで協力隊の活動をしてき小山内さんでした。

「生き心地の良い国」

私、多田が協力隊を志す理由の1つが笹川さんの体験談を聞いたことでした。約20年前のことでしたが、今回もマイク1本で聴衆を魅了する姿に「さすが笹川さん!!」の一言です。

笹川さん通称「ササ」は約5年間ドミニカ共和国に住んでいた経験をお話ししてくれました。笹川さんは花北商業高等学校



ドミニカ共和国

笹川 泰利 さん

1989年～1992年

職種 体操競技

2002年～2004年

職種 社会福祉士

（現在の花北青雲）時代に体操競技に取り組みインターハイに3度と国体出場ならびに岩手県チャンピオンでもあった輝かしい経歴の持ちぬし。しかしそんなササさんですが、青年海外協力隊の試験に落ちたいきさつがありました。

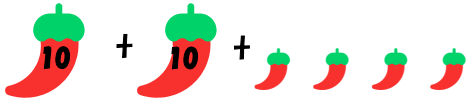
ササさんの任地での家は体育館。いつの間にかストリートチルドレンの子供を育てることになり、副業でお父さんをしたササさん。その子供たちは体操の世界大会に出場し、2人はアメリカで永住権を取得し、1人はドミニカにいるそうです。

体育館は誰でも出入り自由なので、体操用のマットが盗まれることがたびたびあったとか。ある朝ササさんは用を足すためトイレに行くと、便器がなくなっていてビックリ。次の個室にも便器がなく、さらに3つ目の個室で用を足すと、今度は水洗タンクが無かったことでさすがのササさんにも怒りが。便器を盗んで家に取り付ける？それとも売るのでしょうか？そんなエピソードに笑いが起こりました。

「生き心地の良い国」のタイトルの通り、間違いやミスを起こしても落ち込むことなく神様が「望まなかった」と考えるので自殺者がいないそうです。何か為さなくとも、ただ存在することで肯定される社会であるドミニカ共和国。憧れにも似たため息が参加者の口からもれました。

Chika のインドネシア体験記

たいけんき



インドネシア語武者修行

インドネシアに到着して1週間はジャカルタで研修を受け、その後ジョグジャカルタの語学学校（STARWING290号インドネシアのある洗礼参照）に1ヶ月間入学しました。物覚えの悪い私は、単語を忘れて先生のアティンに「Chika sudah mulai pikun=Chika はボケた」といつも言われました。マンツーマンの授業で、日常会話の他に各職種で使うであろう単語を学びました。

学校は仲間に会えるので楽しいのですが、ホームステイ先に戻ると宿題以外やることはありません。当時はWiFi環境が悪く私の部屋がある2階まで届かないので「地球の歩き方」を隅から隅まで読む毎日。するとやってきたのがホームシック。JICAから渡された携帯は日本語入力ができないので、練習を兼ねて仲間にインドネシア語でショートメッセージを送りました。インドネシア語の得意なAちゃんに「Saya ada rumah sakit」と送りました。Aちゃんはびっくりして「だいじょう？今行くから」と。私が送った内容は「私は病院にいます」と送ったようです。ホームシックを直訳しrumah=ホーム・sakit=シックとしたのがいけなかったようです。（rumah sakit=病院）

Chika プロフィール

現在（公財）花巻国際交流協会スタッフとして勤務
2010年～2012年までの2年間インドネシア共和国ゴロンタロ州ポアレモ県に栄養士隊員として派遣される。
首都ジャカルタよりポアレモ県まで直線距離で約2,300 km。ジャカルタから飛行機で（約3時間）→ミニバスに乗り換え（約3時間）→ポアレモ県に到着



アティン先生は、ものすごく毒舌。



モクモクのムラピ山

とつぜん ぶんか 突然の噴火

語学学校が終わろうとしていたある日、ムラピ山が噴火しました!!（インドネシアは130の活火山があり、それは世界の16%に当たり世界有数の火山国）火山灰がいたるところに降り、太陽が隠れ薄暗くなりました。口を覆わないと灰が入ります。他の国の留学生たちは別の地域に避難していきました。私たちは取り残され、JICA事務所に連絡すると「あら？そうなの？」と被害情報が伝わっておらず、「避難」の指示は出ませんでした。



卒業式は学校の中庭で。幸いこの日は火山灰が少なかった。

フィールドトリップ（インドネシア限定?）

語学学校が終了すると隊員に不評なフィールドトリップに出ます。陸路を1週間かけてジョグジャカルタからジャカルタまで一人旅をするというものです。インドネシア語がままならない新隊員はまるで良いカモです。毎年、新隊員はぼったくりに合って泣きながらゴールを目指します。なのにシニアの隊員は空路でジャカルタへひとつとび。しかしムラピ山の噴火で飛行機が欠航になりました。避難する人で電車は満席状態でした。

私はインドネシア語ができるAちゃんと一緒に旅をすることにしました。Aちゃんは付いてくるだけで交渉は全部私がするというので何とか許可を貰いました。もちろん私もぼったくりに合ったり、PCを壊したり、電車のアナウンスがないので乗車駅がわからなくてパニックなったりと散々な旅でした。

☆旅行中一番驚いたこと☆



日本語の書かれた日本製の中古電車が現役で走っていること。私は1週間分の荷物と一緒に電車に這い上って乗ったので、Aちゃんに「Chikaの底力を見た」と今でも語り草になっているらしい。乗客の中に自動車のドアを持って座席に座るツワモノがいて思わず2度見。



キャニオニングツアーに参加。前日の大雨で中止かと思いきや、まさかの決行。確実に流され溺れる寸前。最後、両岸に張ってあるロープに掴まってゴール。掴めなかったら、、、滝壺へ、、、、

ホームから乗車口へのステップがない
=規格が合わないので段差がひどい
乗客同士助け合いながら乗る。

客の中に自動車のドアを持って座席に座るツワモノがいて思わず2度見。

みらいとしょかん やさわしょうがっこう
未来図書館@矢沢小学校

ふじわらこうし
藤原講師Ver. 



1月31日(火)「第232回未来パスポート」で藤原が講師の1人として矢沢小学校にお邪魔しました。小学6年生53名に対し8名の講師が仕事や経歴などについて話しました。



藤原はオリジナル自己紹介を含むA1パネルを持参しましたが、これが子供たちに好評でした。また果敢に笑いをとりに行ってはトライ&エラーを繰り返していました。

はなまきみなみ ただこうし
花巻南ロータリー 多田講師Ver.

第2700回例会令和5年2月2日にゲストスピーカーとして花巻南ロータリークラブにお邪魔しました。会長の会社が近所にありローカルな話をしながらの食事会でした。初めての鹿肉はさっぱりしていて美味でした。インドネシアでの体験や南米の1人旅の話を交えて20分ほど話しました。貴重な経験をテリマカシ☆



とひあわ さき
問合せ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1
TEL: 0198-26-5833 FAX: 0198-26-5855
E-MAIL: kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp
ホームページ: <http://hanakokusai.wordpress.com>
開館時間: 8:30~17:15 (土日祝祭日、年末年始は休業)

